

主要事務事業戦略シート

平成30年度
人事委員会事務局
事務局長 若菜 寧

局・区の使命	公平公正な人事行政を推進するため、人事行政に係る専門的、中立的な第三者機関として、将来の千葉市を支える有能・有為な人材の確保に取り組むとともに、給与・勤務時間その他勤務条件に関する調査・研究を実施し、その成果を議会及び市長に報告及び勧告します。
事業選択・重点化・見直しの考え方	売り手市場の中で、効果的な広報活動を行い、実情に即し、なおかつ厳正な試験を実施することで、有能・有為な人材の確保に取り組む。

施策		9-9-9	その他											
No.	新規	事務事業(業務)名	事務事業(業務)概要		現状分析			課題抽出		今後の方向性		所管課		
			目標(目的) 【(事務事業(業務)を行い誰(何)が、どのような状態になることを目指すのか】	主な内容 【サービス等の提供内容や提供先】	事務事業(業務)に必要な行政資源	コスト換算 (単位:百万円)	行政コストの合計額 (単位:百万円)	主な実績・効果 【利用者数・件数等】	分析・評価 【現在どのような状態で、どのような課題があるのか】	改善・改革の手法	今後の方向性			
1		職員採用活動	<p>将来の千葉市を支える有能・有為な人材の確保に取り組む。</p>	<p>【対象】 新卒者及び千葉市への就職を検討する者</p>	ヒト	職員7.6人 (正規7.0人、非常勤0.6人)	26	41	<p>平成27年度 受験者数:2,817人 競争倍率:5.7倍</p> <p>平成28年度 受験者数:2,570人 競争倍率:7.0倍</p> <p>平成29年度 受験者数:2,316人 競争倍率:8.8倍</p>	<p>①少子化と民間企業における高い採用意欲等を背景に、公務員志望者の数が減少している。特に技術職における人材確保に苦慮している。</p> <p>②各自治体とも広報活動や試験制度を工夫し、自治体間でも人材獲得競争が過熱している。</p> <p>③限られた予算・人員の中で、試験の執行を確実に行うと同時に広報活動にも更に注力する必要があり、業務量の増加と予算不足が懸念される。</p>	⑤ 連携・協働	<p>・県内高校へのキャリア教育実施</p> <p>・大学、予備校との連携強化</p> <p>・他部署、リクルート大使との連携強化</p>	人事委員会事務局	
				<p>【主な内容】 ・有能・有為な人材の確保に向け、市内外を問わず、千葉市で働くことの魅力や千葉市の試験概要を広報する。 ・公平公正な試験・選考を取り行う。</p>	モノ	なし	0	<参考> 前年度決算額			⑥ ICT活用	<p>・Twitterによる情報発信</p> <p>・就職サイトの活用</p> <p>・リクルート大使と連携したPR動画の自主制作の検討</p>		
				他都市等の状況		カネ	<p>歳出予算額15百万円 (うち一般財源15百万円)</p> <p>【主なもの】 委託料 8百万円 印刷製本費 2百万円</p>	15			<p>歳出決算額10百万円 (うち一般財源10百万円)</p>	⑧ その他		<p>全ての職種の試験を一律に実施するのではなく、組織の年齢構成・状況や、申込者数の傾向に合わせた採用試験活動により欲しい人材を確保するとともに、受験しやすい試験制度とすることで、申込者数を確保する。</p>
				<p>・埼玉県:技術系の教養・論文試験の撤廃</p> <p>・東京都:技術職へのウェブセミナー</p> <p>・柏市:「I LOVE 柏」採用枠による採用</p> <p>・武蔵野市:ウェブテストの導入</p> <p>・稲城市:職員採用PR動画配信</p>										